

PTC[®]

ジェームス(ジム)・E・ヘプルマン

(James E. Heppelmann)

米 PTC

社長 兼 最高経営責任者(CEO)



職務:

ジェームス(ジム)・ヘプルマンは、社長 兼 最高経営責任者(CEO)として、PTCのグローバルビジネス戦略と経営を統括しています。ヘプルマン統率の下、PTCは業界における広範なテクノロジー機能を取り込み、スマート・コネクティッド・プロダクツの開発、インターネット接続されたコネクティッドな環境、運用、サービスを実現してきました。ヘプルマンはPTCの取締役を兼務しています。

2014 年度の Postscapes 社による IoT(モノのインターネット)年間アワードにおいて“CEO of the Year”を受賞したヘプルマンは、IoT 領域のソートリーダーとして認知されています。ヘプルマンは、ハーバード大学のマイケル E. ポーター(Michael E. Porter)教授と IoT に関する独創的な論説を共同執筆しました。この論文は「How Smart, Connected Products are Transforming Competition」と題し、米「Harvard Business Review」2014 年 11 月号に掲載され、その日本語版『「接続機能を持つスマート製品」が変える IoT 時代の競争戦略』は、「DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー」2015 年 4 月号に掲載されました。ヘプルマンはこの分野に関して世界中で講演を行っており、最近では Brookings Institution にて、アメリカの高度な産業におけるデジタル化の役割について講演しました。またヘプルマンは「Wall Street Journal」、「Forbes」、「Bloomberg Businessweek」など世界有数のビジネスおよび業界メディアで紹介されており、多数のメディアがヘプルマンのコメントを引用しています。

ヘプルマンは、自動車・産業用センサーとコントロールの世界的リーダー企業である SENSATA 社の取締役、ミネソタ大学理工学部 of 学部長諮問委員会メンバー、および全米組織である FIRST (For Inspiration and Recognition of Science and Technology: 子供達に科学: 技術分野への興味、関心を喚起させることを目的とした機関)の諮問委員会エグゼクティブメンバーを務めています。また、科学技術教育 (STEM) 分野の業界組織である STEMconnector より、「Top 100 CEO Leaders in

STEM”の一人として表彰されています。

経歴:

2010年にCEOに就任以前は、PTCの社長兼最高執行責任者(COO)として、研究開発、マーケティング、営業、サービスを含む事業部門を統括していました。また、2001年より2009年までは、PTCの最高技術責任者(CTO)として、PTCの製品ビジョンと戦略、製品設計と開発、製品マーケティングと管理の責務を担いました。

ヘプルマンは、1988年に、PTCによるWindchill Technology社買収により、PTCに入社しました。ミネソタに拠点を置くWindchill Technology社を共同設立し、最高技術責任者として統括する以前は、Metaphase Technology社の最高技術責任者を務めていました。

学歴:

ヘプルマンは、ミネソタ大学にてCAD(コンピュータ支援設計)を専門とする機械工学学士号を取得しています。